

大手化粧品販売のポーラ。ポーラレディと呼ばれる販売員は、全国に約15万人います。その中で、史上初のミリオン(月間売上 100 万円)や累計売上1億円を達成し、84歳のいまなおトップグループの営業成績を叩き出している森本早苗さん。そんな伝説のセールスレディが教える「仕事の心構え」「運を呼び寄せる秘訣」とは。対談のお相手は、日本女子アイスホッケー界の草分けで、78歳のいまも現役アイスホッケー選手として活躍する岩本悦子さんです。

(森本)私の仕事は行動が自由ですから、普通は1回売れたら喫茶店でちょっと休んだりするんです。だけど私は、いままで仲間と一緒に喫茶店で時間を潰したことは一度もないですね。商品が売れたら手元なくなるから、すぐ会社に戻ってくる。1日に2回も3回も戻っていました。うちの会社には社是がありましてね「出来ないのはやらないからであり、努力と信念が足りないからである。並にやれば並にしか出来ないのである」というんですよ。これはつまり精神力が大事だということね。だから私は「努力」の二文字で、半世紀歩いてきました。ここのところ連休続きでしょう。するとね、サラリーマンの人は、連休で遊んでも給料をもらえるけど、我われはコミッションセールスですから、仕事をしないとお金にならないわけです。稼働日数が少なくなると、売り上げを上げなくちゃいけない。旗日でも、気持ちは常に仕事をしているわけです。ですから旗日でもお客さんから「きょう来てくれる？」って言われると、私は必ずお客さんの都合に合わせてきました。

(岩本)それでもずっと成績を上げ続けてこられたのは、大変なことだと思います。

(森本)私の会社は、上半期と下半期半年半年で成績が決まるんですよ。ですから子供を産む時も、仕事になるべく差し支えないような時期を出産日にしようと思って、出産日までに仕事の目安をつけておく。長男が10月、長女が12月なのね。そうして20日間くらい寝て、動けるようになったらもう電話で注文を取っていました。子供が生まれた後も仕事ができるように、住み込みのお手伝いさんを自分で雇ってね。母親のやることは、学校のことそれから私立で給食がなかったからお弁当のこと、あとの家事は他人でもいと割り切ってその人をお願いしました。ですから、子供たちが通信簿をもらう時は学校の門で待っていてよく頑張ったねって一緒に食事に行きました。それから授業参観の時は、いつも私が一番最初に教室に入っていました。朝、仕事の支度をするから、そのままサッと行けるんです。

(岩本)お仕事と家庭を見事に両立してこられたんですね。

(森本)私はどっちかを取るというんじゃなくて両方取ります。そのためにはやっぱり行動ですよ。人の三倍動かなくてはね。仕事もしながら家のこともするんだから人の三倍動かなくちゃいけない。だからよく運なんて言うけど、運なんていうのは、努力しないと来ないんですよ。

Q1: 森本さんは、運はどうしなければ来ないと言っていますか？

A1: ( )

Q2: 運を呼び寄せるために何か意識していますか？

A2: ( )